

住民検診の積極推進

水俣市
議会

“水俣病”などでただす

定例水俣市議会の三日目は二十
二日午前十一時から本会議を開
き古里(自)日吉(革新)・社
会(徳富(同友)松田(無)中村
(自)田上(革)柏木(自)の七
議員が一般質問に立った。これら
のうち古里議員が①水俣病の住民
一斉検診を積極的に進めるよう②
水俣港のヘドロ対策③コロニー建
設の進行状況、日吉議員が①老人
福祉開発②小、中学校の授業の中

で水俣病問題をなせ取り上げない
のか③茂道地区の住民検診をせよ
—などについてただした。これに
対し浮池市長は「住民検診は県で
実施することになっており近く
保市町村長の打ち合わせがある。
コロニーは湯の尻リハビリに近い
ところに敷き地も決まり、国の補

助なども決まっている。しかし述
設後の運営方法など未定だ。老人
福祉のために湯の鶴温泉に来年度
“いこの家”といったものを計
画している。茂道地区は県の一斉
検診で対象になる」と答えた。
公害教育については和久田教育
長が「広い意味での公害を取り扱

うことになっており、教育上、水
俣病問題の解決などを教える必要
はない。ただ水俣病は一つの資料
にはなると思う」と述べた。